

令和6年度第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年2月7日（金） 14：30～15：45

2 会 場 大会議室

3 参加者 学校運営評議会委員（5名）

学校運営協議会委員A 欠席

学校運営協議会委員B 欠席

学校運営協議会委員C 欠席

学校運営協議会委員D 欠席

学校運営協議会委員E 出席

学校運営協議会委員F 出席

学校運営協議会委員G 出席

学校運営協議会委員H 出席

学校運営協議会委員I 出席

学校運営協議会委員J 欠席

学校運営協議会委員K 欠席

学校側参加者（13名）

校長・事務長

（全日制）副校長・総務主任・教務主任・生徒指導主事（代理）・進路指導主事

（定時制）副校長・教務主任・生徒指導主事

（通信制）副校長・教務主任・生徒指導主事

※受付・記録係として、総務課員1名が同席

4 次 第

（1）開会のことば

（2）学校長挨拶

- ・現在、在校生は期末考査、3年生は共通テストの結果をふまえ前期試験に向けて頑張っているところである。また、高校入試の出願が始まっているが、非常に厳しい出願状況である。地域の子どもの数の減少、他地域への流出など原因はいろいろと考えられるが、今後の高等学校再編計画に影響が出なければと考えている。本校の魅力を発信していく工夫が求められる。本日は、本校が何をすれば良いのか、どのようにすればいいのか意見を頂戴し、今後の学校経営の参考とさせていただきたい。

（3）自己紹介

（4）学校概況説明 … 学校概況説明資料による

①全日制（副校長・進路指導主事・生徒指導主事）

資料の通り（詳細は資料）

- ・学校満足度の推移について説明、一時期満足度が落ち込んだ時期もあるが、ここ数年は上昇傾向にある。
- ・学校運営計画重点目標の達成状況について説明。
- ・学校評価についての結果説明。
- ・現在までの進路状況について説明。
- ・現在までに65名の生徒が進路内定をしている。
- ・昨年度は難関大学への合格はなかったが、今年度3名の生徒が内定している。他地域への生徒流出を

防ぐためにも進路指導課としては重要と考えている。

- ・今年度は、公務員と民間就職のところで希望生徒全員が希望する職種での内定をいただいている。
- ・部活動についての説明。
- ・今年度は、各種大会においてベスト8以上に入るチームが例年より多かった。
- ・放送部は今年度で廃部となるが、全国大会での活躍など最後までしっかり活動した。

②定時制（定時制副校長）

資料の通り（詳細は資料）

- ・重点目標自己評価、学校評価の結果について説明。
- ・現在、休学者などを除くと生徒は27名で活動している。
- ・進路については卒業予定者のうち進学就職希望者は5名である。現在、4名が進路決定している。
- ・全国文芸コンクール短歌部門で、全国で優秀賞を獲得した。

③通信制（通信制副校長）

資料の通り（詳細は資料）

- ・受講生は85名で活動している。
- ・重点目標自己評価、学校評価の結果について説明。
- ・前期卒業生も含めて今年度の卒業予定者は14名である。現在、9名の生徒が進路を決定している。
- ・生徒生活体験発表会において、二戸市長賞（3位相当）を受賞した。

(5) 質疑応答

○運営協議会委員G

- ・学校内のいじめ対策組織とはどのようなものか

A. 毎月1回、クラス担任、部活動顧問から生徒に対しいじめについての講話をするとともに、何か些細なことでもいいのですぐに相談してほしいことを話すようにしている。また、年に4回はいじめアンケートを実施している。（全日制副校長）

- ・定時制通信制教育振興会はどのような取り組みをしているのか

A. 定時制、通信制にはPTAがないため、それに代わるものとして活動している。具体的には、年に2回総会を開催するなどである。（通信制副校長）

○運営協議会委員E

- ・探究的な学習について、生徒の評価が低い。活動の中ではどのような内容で行い、どのような力を付けさせたいのか。こういった課題に取り組んでいくことが、今後の宮古高校の魅力につながっていくのではないかと。

A. 昨年度から理数教育に重点を置いて取り組んでいる。一年生では、海洋教育を中心に学校側が主として取り組ませている。内容的には、震災からの復興状況などを学習させながら理数教育につなげて行ければと考えている。二年生では、沿岸にある海洋教育の施設などを見学させながら、個人の探究を深めていくといった内容となっている。実際には、探究が深まるころまで行っていない。今後の課題である。（全日制教務主任）

A. 生徒が自分で課題テーマを設定し、探究を深めていく活動についても要望が多く、今後の課題となる。（全日制副校長）

○運営協議会委員G

- ・三陸鉄道としても今後インバウンド対策に力を入れていく必要がある。宮古市としては、クルーズ船の就航や、みちのく潮風トレイルの推進など魅力的な地域である。よって、国際教育についても有効ではないか？

A. 国際教育に関しては、確かに魅力的な地域である。クルーズ船の就航の際には通訳ボランティア

アなどたくさんの生徒がボランティアとして参加している。国際教育につなげていけるよう今後、検討していきたい。(全日制副校長)

○運営協議会委員H

・世界では、標準的な英語よりも発音など癖のある英語の方が比率が高い。そういう意味でも、クルーズ船のボランティアなど、生で英語と接することはとても大切である。

○運営協議会委員H

・難関大学への進学者を出さないということは、その地域から難関大学からしかねない職業人が居なくなるということの意味する。特に医師や弁護士などは人材確保が難しくなる。

○運営協議会委員I

・学校評価において、冷暖房設備についての要望が多いように思う。冷暖房については人によって感じ方も違うので、難しい問題かと思う。HRなど、生徒が自由に座席などを移動できるようなルールなど柔軟に対応してはどうか

○運営協議会委員F

・定時制、通信制において学校評価において、学校が楽しいと答えてくれる生徒を増やすためにはどのようなことが有効であると考えているか

A. 個々の実情に対応しながら一人ひとりに向き合っていくことを大切にしたい。(定時制副校長)

A. 少人数での活動になるため、どのような生徒が在籍するか、アンケートを採るタイミングなどで結果は大きく変わってくると考えられる。(定時制教務主任)

A. 行事に参加する生徒を増やしていくことで、学校が楽しいと答えてもらえる割合を増やせると思う。(通信制教務主任)

A. 様々な生徒に対してその距離感を大切にすることが大切であると考えている。(通信制生徒指導主事)

○運営協議会委員E

・不登校の生徒が増えている。その中で、定時制と通信制を選択する基準とはどういったところか

A. 中学校からストレートで進学してくる生徒は、中学校側の進路指導が大きい。転学等の場合は距離が遠くなると毎日の通学は大変なため通信制を選択する傾向がある。また、中学時代の人間関係から選択する生徒も居る。(校長)

A. 以前に、通信制は少人数というイメージがあり希望した生徒がいた。(通信制副校長)

(6) 学校運営協議会委員から

○運営協議会委員F

福祉介護関係の職場は労働力不足が問題となっている。併せて、現場を管理する立場の職種についても同様である。そのため、大学で福祉について学び職場を管理してくれる人材を確保したい。そういったところも宮古高校の生徒には期待している。

○運営協議会委員G

学校評価など、おおむね良い評価をいただいている印象である。また、3課程それぞれの特徴を生かした学びを提供している先生方に敬意を表したい。